

JSTQB認定テスト技術者資格試験 Advanced Level過去出題問題 解説セミナー Q&A

May 22, 2017

JSTQB Technical Committee



1. 概要に対するQ&A

質問ID	質問	回答
1	出題ルールのファイルを公開していただきたい。	当日資料を公開しているため、ご確認ください。
2	LOとシラバスの内容がわかりづらかった。章とLOが一致しないのか？TA3-2-11は章がない。	シラバスの章/節と、学習の目的(LO)は一致するものではありません。

2. TA過去問解説に対するQ&A 1/2

質問ID	質問	回答
3	産総研の出しているクラシフィケーションツリーのツール名を教えてください。	キャッツ株式会社が販売しているZIPCFOTというツールが、当日のセミナーで話したツールとなります。ただし、JSTQBが下記ツールの販売について関与しているわけではないため、詳細については回答できません。販売元に直接お問い合わせください。 http://www.zipc.com/product/fot/
4	TA試験K3について 条件分岐の順によって回答bを選択することが有効でないかと考えます。借入額を一番最初に判定していた場合、必要なテストケースは変わってくると考えます。	本問題のポイントはクラシフィケーションツリーを使った1ワイズカバレッジの達成であり、デシジョンテーブルテスト技法を使う問題ではありません。また、本問題では、条件判定の処理順番は説明されておりません。
5	TA3.2.7の解説をもう一度聞きたい。	説明会当日の動画を公開していますので、ご確認ください。
6	クラシフィケーションツリーの英語の参考文献サイトのURLを教えてください。	当日資料を公開しているため、ご確認ください。
7	TA試験K3 法人が一戸建てを購入した時にキャンペーン対象外となることのパターンを評価しなくてもよい理由を教えてください。	本試験問題は、キャンペーン対象となる条件の1ワイズカバレッジのテストケースの洗い出しに関して問うものであり、デシジョンテーブルテストが対象ではありません。また、シナリオや設問にも、質問にある条件をテストしなくて良いとは言及していません。あくまで1ワイズカバレッジを達成するためにクラシフィケーションツリーを使っているときに追加すべきテストケースを選択肢から選ぶことになっております。

2. TA過去問解説に対するQ&A 2/2

質問ID	質問	回答
8	TA3.2.11 1機能、2機能の欠陥が2~5以上の欠陥より多いのでb、B（境界値分析）とD（ペアワイズテスト）がよりよいのではないか。	当日説明させていただいたとおり、欠陥の重要度も考慮しています。その中でもお伝えしましたが、ペアワイズテストは2機能間の網羅であり、1ワイズ、2ワイズ、3ワイズを組み合わせを定義するためにはクラシフィケーションツリーがより良いとシラバスに記述があります。
9	TA3.2.11組み合わせでケースがとて多く手につくれそうにない（ペアワイズならpictが使えるが）クラシフィケーションツリーを作成するツールを教えて欲しいです。シラバスにペアワイズは2因子間とありますがPICTのオプションで3因子以上も可能だと思います。	本問ではツールであるPICTを選択肢にしているわけではなく、「ペアワイズテスト」という組み合わせテスト技法を選択肢にしています。クラシフィケーションツリーのツールについては「質問ID3」をご確認ください。

3. TM過去問解説に対するQ&A 1/2

質問ID	質問	回答
10	TM2.7.2のスライド（p.14）の表が①、②逆です。	ご指摘のとおり、資料における表の順番が誤っておりました。公開している「ALTM過去問題解説」資料では、スライド14およびスライド15の表の順番を修正しております。
11	「TM-2.3.3」の問題について、「コンポーネントテストの品質」とはどのような意味ですか？	「コンポーネントテスト終了時のソフトウェアの品質」の意味です。セミナー当日は講師が「コンポーネントテスト自体の品質」と回答しましたが、上記が正式な回答となります。 ただし、いずれも「低」の方が品質リスクが高まると判断されるため、解答を導き出すことにおいては影響はありません。
12	「TM-2.3.3」(K4)について印刷機能ではコンポーネントテストで1件しかバグはみつかっていないのか？	スライド24の表にある「抽出した欠陥数」は、表の見出しにもあるように「統合テストの結果」です。コンポーネントテストの欠陥数は、本文では明示されていません。
13	TM過去問題K4でリスク顕在化の可能性と影響度を機能順に並べていましたが、なぜこの並び順になるのか理解できませんでした。分析の参考になる書籍はありますか。	「リスクが顕在化する可能性」は、問題文中に表現されている機能の特性のうち「機能の難易度」、「コンポーネントテストの品質」より判断し、「リスクが顕在化したときの影響度」は「機能の利用頻度」および「機能の代替手段」より判断しています。 公開している「ALTM過去問題解説」資料の、23スライドにその旨説明を追加しました。リスク分析の参考になる書籍は、セミナーの中で学習方法として紹介した参考文献の3冊になります。

3. TM過去問解説に対するQ&A 2/2

質問ID	質問	回答
14	TMのK4の解説で顕在化する可能性と影響度の分析をされていましたが、理解が正しかったのか不安なので、問題にある表のどこをどのように読みとっていたかを詳しく公開していただけるとうれしいです。	「質問ID13」の回答をご確認ください。
15	TM試験K4 リスクベースを定性的な判断では客が期待しないのでは。	シラバス「2.3 リスクベースドテストとその他のテストの優先度付けと工数配分のアプローチ」節に、リスクレベルの評価は「定量的もしくは定性的」に評価ができるという説明があります。
16	TM試験K4の解説の中で統合テスト後にリスクの再評価をして更新<登録となるように思えたのですが、登録<更新という判断もあり得る理由がわからなかったです。	本問題では、シナリオの中で定量的なリスク評価方法を定義していなため、定性的な評価を行う必要があります。その場合「登録」と「更新」には明示的な順序はつけられない事を意味しています。
17	TM2.33 テストケースは減らせないが、リリース対象外にすることを検討することはOKなのか。	リリースを延期するなどの対応をテストマネージャがテストコントロールして行うべきである事は、シラバスの「2.6 テストメトリクスの定義および使用」に記載されています。 ただし、シラバスの同章にもあるとおり「プロジェクトや運用のステークホルダ間の合意と、プロジェクトマネージャや運用マネージャからの同意を必要とする。」ため、本問の状況においては「書籍情報の削除機能は今回のリリースから外すことを検討する。」という選択肢が正解となります。「検討」した結果として最終的にどのような対処となるかは本問題の対象ではありません。

4. その他試験問題に対するQ&A 1/2

質問ID	質問	回答
18	シラバスの解説本が欲しいです、作成予定はありますか。	JSTQBは公認書籍の認定を行っています。 Foundation Levelについては、認定された書籍がありますが、Advanced Levelについては、現状認定の申し込みが来ておりません。
19	教材ですか。	「質問ID18」の回答をご確認ください。
20	学習参考文献、書籍について公式ではないものに対する信頼度はどの程度になるのか。	JSTQBは公認書籍の認定を行っています。 公認されていない書籍については、コメントする事ができません。
21	海外のテスト参考書を紹介していただきましたがJSTQBのテストにも参考になるのでしょうか。また、シナリオの内容はISTQBと同じ内容なのでしょうか。	JSTQBはISTQBのシラバスを日本語訳しているだけであり、試験ガイドラインは同じものを使っています。 ISTQBに沿った書籍であれば同じものをベースになっているはずであるため参考にはなると思います。しかし、JSTQBで公認をしているわけではないので、詳細まで確認した上で保証はしていません。シナリオに関しては、問題毎に別途用意するものであるため、海外の書籍が同じかどうかはJSTQBでは保証できません。
22	知識レベルK4を習得するためには、シラバスだけでは難しいと考えています。実務または経験による習得（使いこなす）ためにはどのように指導すればよいのでしょうか。	ISTQBとしてもアドバンスレベルの技術者は実務経験が必要だと考えているため、受験資格に実務経験を入れています。K4レベルの現場経験を持った方が受験していただいているという認識です。今後に向けた更なる学習方法に関しては、セミナーにてご説明させていただいたとおり、参考文献もご活用いただければと思います。

4. その他試験問題に対するQ&A 2/2

質問ID	質問	回答
23	シラバスの文章の解釈に迷う場合が多々あります。そのような質疑応答の場は用意されないのでしょうか。	質疑応答の場はありませんが、JSTQBに関するお問い合わせについては以下にお問い合わせください。 ----- JSTQBお問い合わせ窓口 E-mail : query@jstqb.jp (※本アドレスで受けられるメールの最大容量は50KBとなっておりますのでご注意ください) -----
24	シラバスの日本語版が直訳調で非常に理解しづらいと思います。シラバスについて改善を要望した場合、ご対応を検討いただけませんかでしょうか。	具体的な課題をJSTQB事務局にお問い合わせをいただければ対応を検討いたします。訳の言い回しや誤訳であればJSTQBだけの判断で対応いたします。記述内容の考え方については、JSTQBだけでは判断できないため、国際会議の場での審議になります。JSTQBに関するお問い合わせについては「質問ID23」をご確認ください。
25	サンプル問題をもっと公開していただくことは可能でしょうか。	今後、JSTQBにて対応を検討いたします。 なお、参考までに、ISTQBでのサイトでは全てのLOに対するサンプル問題が公開されています。

CONTACT INFORMATION

JSTQB (Japan Software Testing Qualifications Board)

E-mail : query@jstqb.jp

※1: acceptable mail size is less than 50KB

※2: Please understand that our response may take time

ありがとうございました